

(2001.11.13)

SCSI コントローラ

SCSI コントローラ

1.概要

型名	製品名
N8103-56	SCSI コントローラ
N8103-55	SCSI コントローラ
N8103-65	SCSI コントローラ
N8103-42	SCSI コントローラ
N8103-31A	SCSI コントローラ

2.機能仕様

	N8103-56	N8103-55 3
拡張スロットバス形式	PCI	PCI
SCSI 形式	Ultra160 SCSI/Ultra2 SCSI /Ultra SCSI(wide)	Ultra SCSI(Wide) Single Ended
チャンネル数	1	1
最大同期転送速度	160(MB/s)	40(MB/s)
外部インタフェース	D-sub ハーフピッチ 68 ピン (メス)	D-sub ハーフピッチ 68 ピン (メス)
内部インタフェース	D-sub ハーフピッチ 68 ピン (メス) 2 BOX 型 50 ピン(オス) 2	D-sub ハーフピッチ 68 ピン (メス)

	N8103-65 3	N8103-42 1
拡張スロットバス形式	PCI 4	PCI
SCSI 形式	Ultra SCSI(Wide) Single Ended	Ultra SCSI(Wide) Single Ended
チャンネル数	1	1
最大同期転送速度	40(MB/s)	40(MB/s)
外部インタフェース	UHD(高密度)68 ピン (メス)	D-sub ハーフピッチ 68 ピン (メス)
内部インタフェース	D-sub ハーフピッチ 68 ピン (メス)	D-sub ハーフピッチ 68 ピン (メス) BOX 型 50 ピン(オス)

	N8103-31A
拡張スロットバス形式	PCI
SCSI 形式	Ultra SCSI(Wide) Differential
チャンネル数	1
最大同期転送速度	40(MB/s)
外部インタフェース	D-sub ハーフピッチ 68 ピン (メス)
内部インタフェース	D-sub ハーフピッチ 68 ピン (メス) BOX 型 50 ピン(オス)

- 1 N8103-42 の制限事項として内部用 2 コネクタ、外部用 1 コネクタを持っており、3 つのうちどのコネクタの組合せでも 2 つまで使用することが可能です。
- 2 N8103-56 の内部インタフェースにおいて、BOX 型 50 ピン(オス)は使用不可です。
また、D-sub ハーフピッチ 68 ピン (メス) は 2 つあるが、使用するコネクタは 1 つのみです。
- 3 N8103-55/65 には内部と外部合わせてインタフェースコネクタは 2 つありますが、使用するコネクタは 1 つのみです。
- 4 添付の Low Profile 型ブラケットに取り替えることで Low Profile PCI にも対応

■ シングルエンデッド(Single Ended)/ディファレンシャル(Differential)伝送

シングルエンデッド伝送は、1 つの信号に 1 本の信号線を用い、その電圧レベルで True と False が表現される。これに対しディファレンシャル伝送では、1 つの信号に 2 本の信号線を用い、両者の電位差で True と False が表現される。このため、ディファレンシャル伝送はノイズなどに強く、シングルエンデッド伝送でのケーブル長よりも長く、最大 25m まで延長することが可能となっている。2 本の信号線を用いる関係上、ターミネータもシングルエンデッド伝送用とは異なる専用のものを用いる。

■ Ultra SCSI / Ultra2 SCSI

Ultra SCSI は SCSI-3 に準拠しており、Ultra2 SCSI は SCSI-3 の拡張サブセットとして別に規定されている転送インタフェースの一つである。データ転送速度は、Ultra SCSI ではバス幅 8bit で 20MB/s、16bit で 40MB/s で動作、Ultra2 SCSI ではバス幅 16bit で 80MB/s で動作する。Ultra SCSI では最大ケーブル長が 1.5m に制限されているが、Ultra2 SCSI では信号伝達方式に LVD(Low Voltage Differential)を採用することにより、最大 12mまで使用できる。

■ Ultra 160 SCSI

Ultra160 SCSI は、Ultra2 SCSI との完全な下位互換性を持ち、名前のとおり Ultra2 SCSI の 2 倍である 160MB/秒のデータ転送速度を持つ。また Ultra3 SCSI の主要機能である CRC、ドメイン検証機能を持つことで、信頼性が低い場合にはデータ転送速度を落として信頼性を確保する機能を持つ。

■ LVD(Low Voltage Differential)

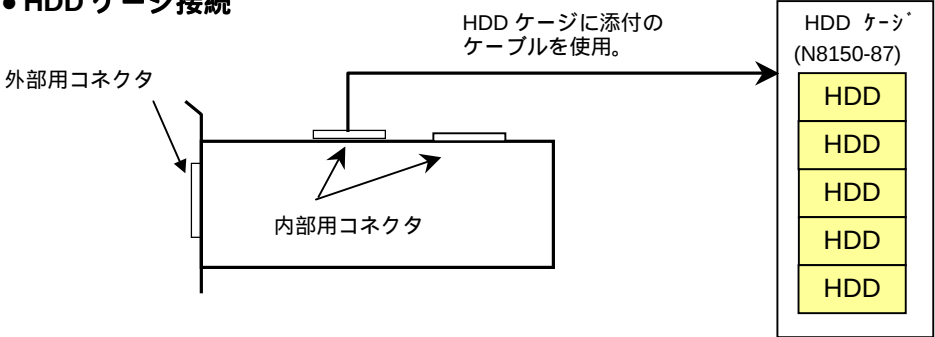
駆動電圧を下げ、信号を差動にすることで低ノイズ化する方式。

3.接続図

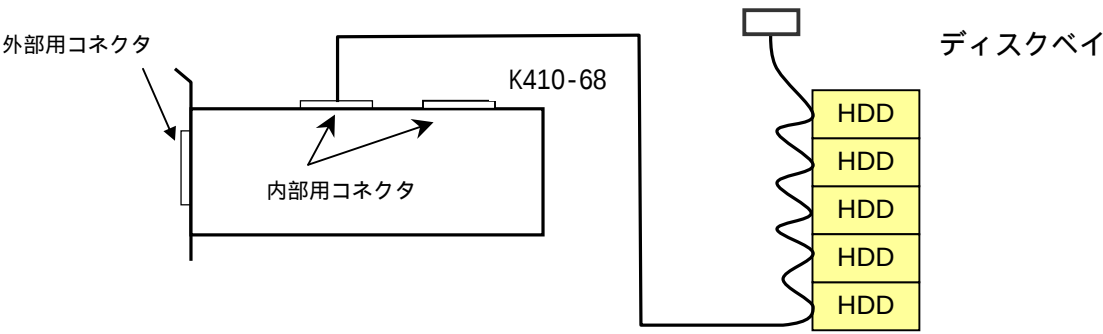
(1)N8103-56 接続例

■ 内部接続

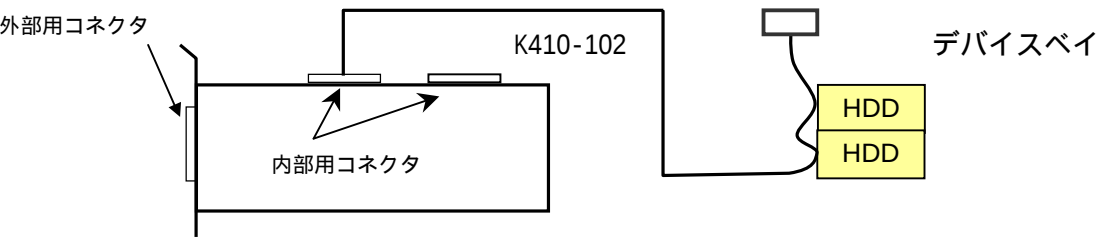
● HDD ケージ接続



● 本体内部 HDD ディスクベイ接続

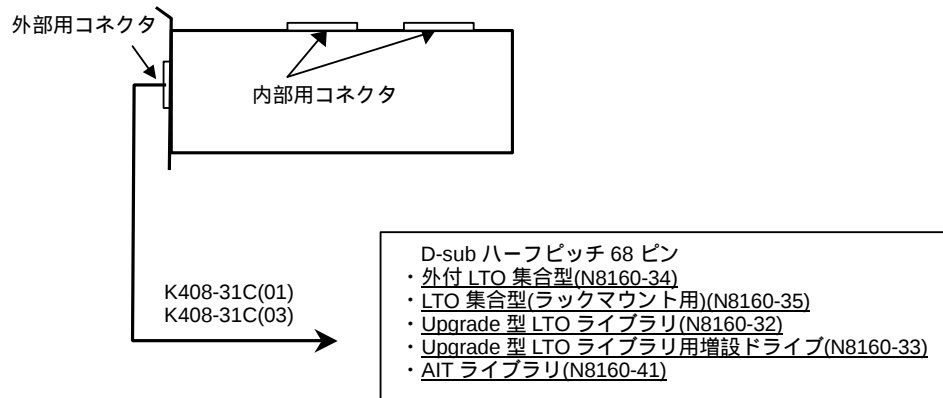


但し、110Rc-1 の場合は下記の接続。



■ 外部接続

● バックアップ装置接続

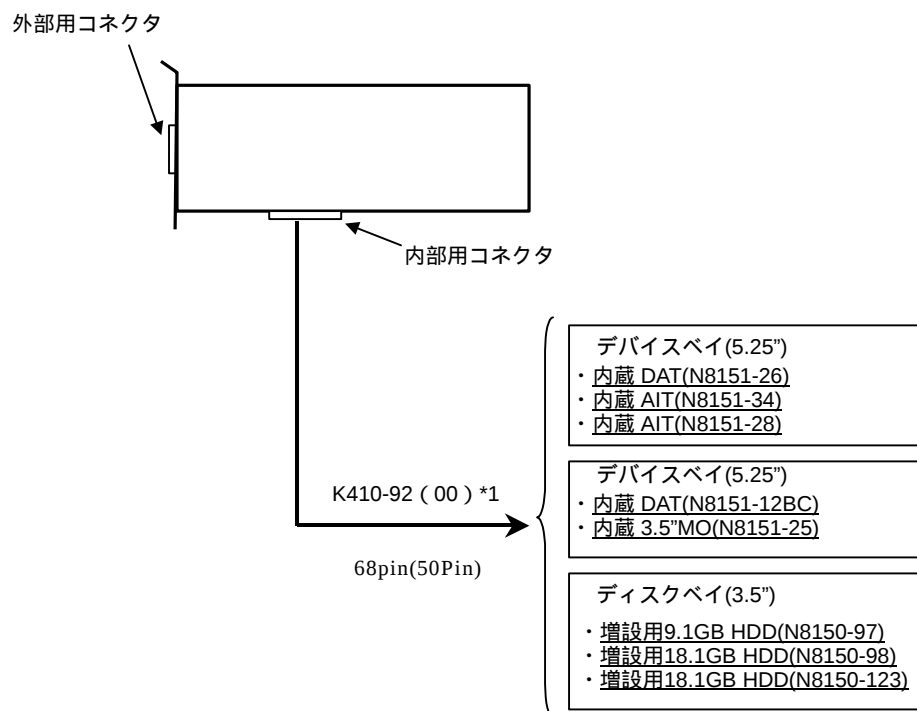


- * LTO/AIT の動作環境(ソフトウェア)は、バックアップ装置の項を参照の事。
- * 本製品はバックアップ装置と HDD を混在して接続することはできない。

(2) N8103-55 接続例

■ 内部接続

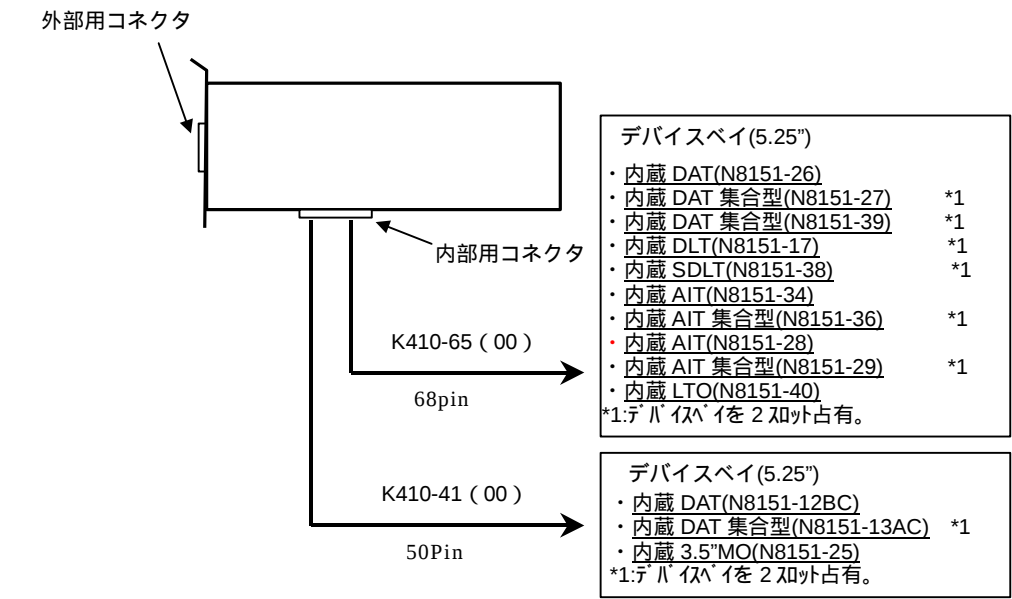
● HDD およびバックアップ装置接続 (Express5800/110Ee)



*1:SCSI ケーブル[K410-92(00)]のコネクタは 68 ピン(Wide)であり、50 ピンに変換する変換コネクタがケーブルに添付(2 個)してある。
50 ピンのデバイスを使用する場合は、変換コネクタを装着し接続すること。
また、本ケーブルでは最大[HDDx3]+[バックアップ装置 x1]もしくは[HDDx2]+[バックアップ装置 x2]まで接続可。

* DAT/AIT の動作環境(ソフトウェア)は、バックアップ装置の項を参照の事。

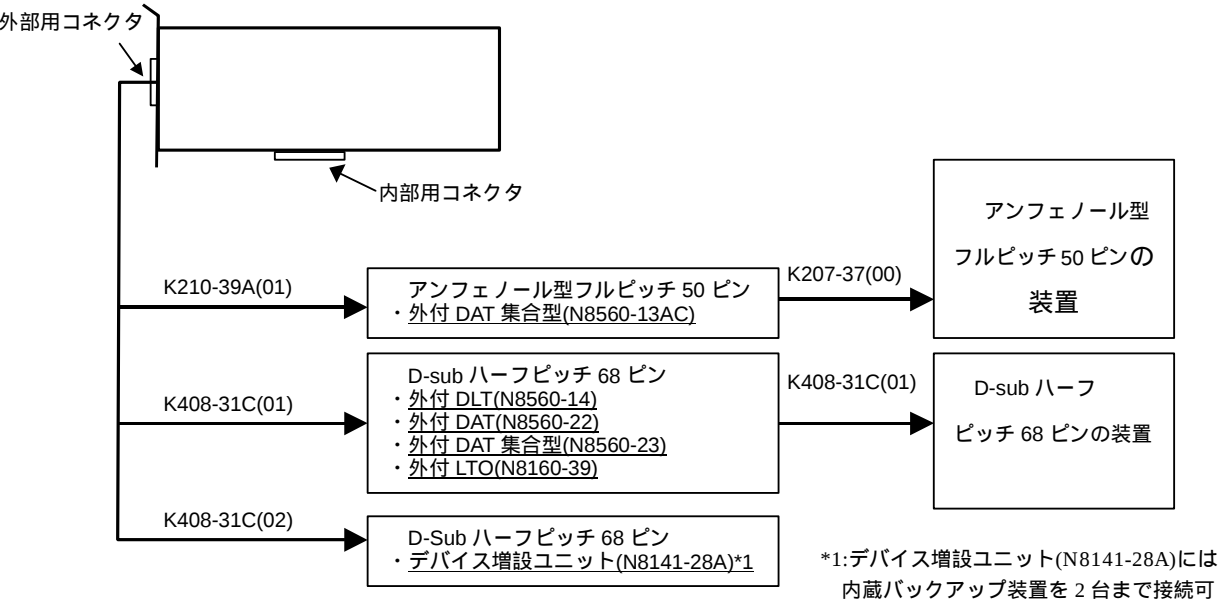
●バックアップ装置接続



* DAT/DLT/AIT/LTO/SDLT の動作環境(ソフトウェア)は、バックアップ装置の項を参照の事。

■外部接続

●バックアップ装置接続

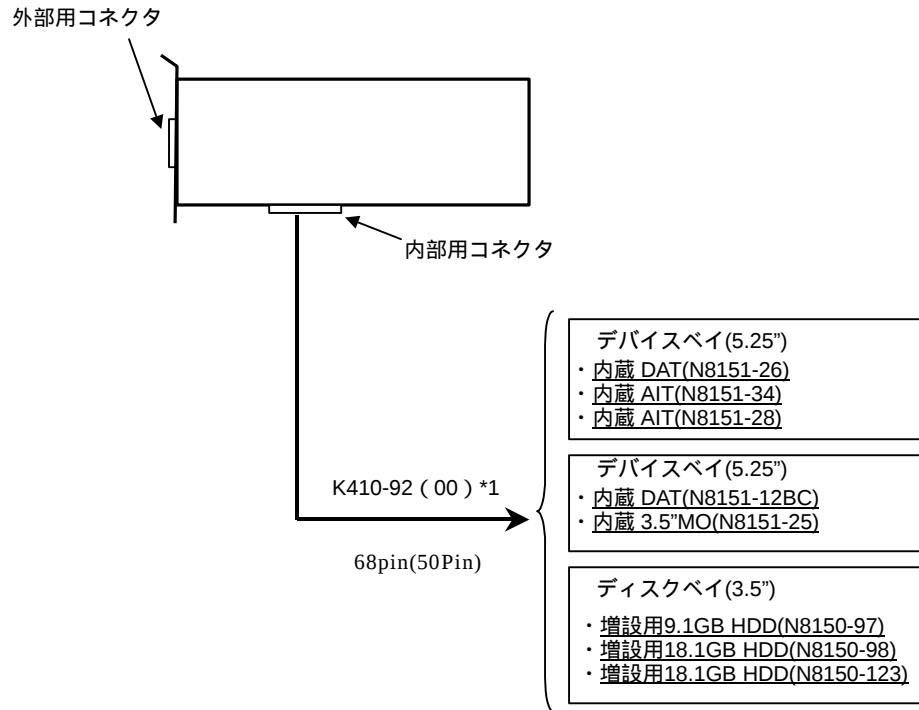


* DAT/DLT/AIT/LTO の動作環境(ソフトウェア)は、バックアップ装置の項を参照の事。

(3) N8103-65 接続例

■ 内部接続

● HDD およびバックアップ装置接続 (Express5800/110Ee,120Ee)



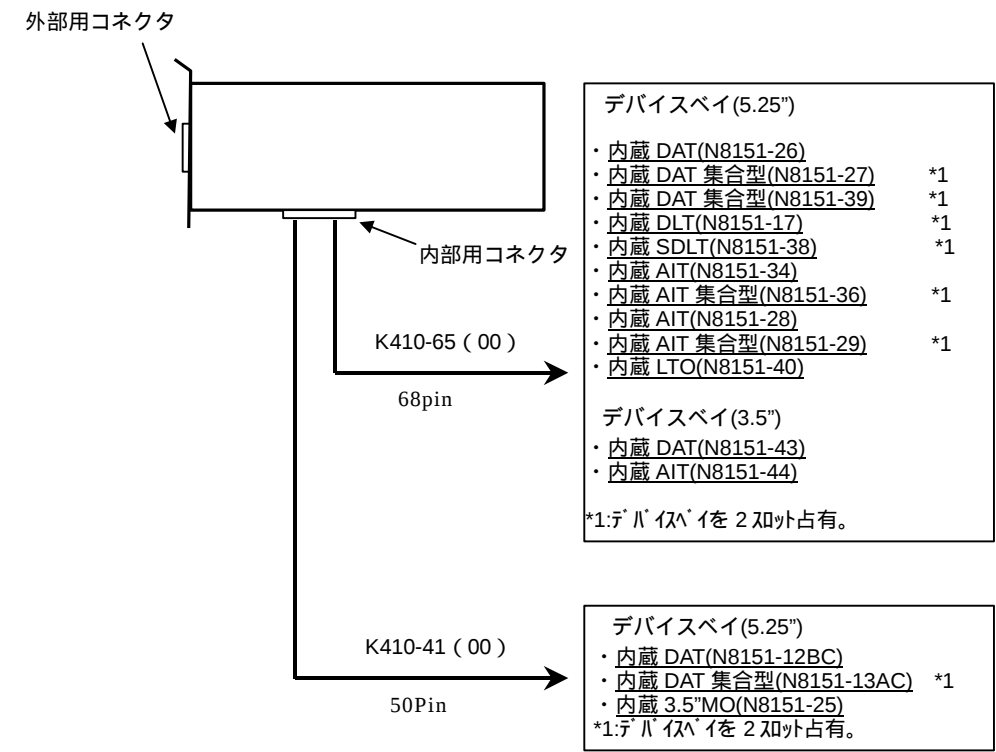
*1:SCSI ケーブル[K410-92(00)]のコネクタは 68 ピン(Wide)であり、50 ピンに変換する変換コネクタがケーブルに添付(2 個)してある。

50 ピンのデバイスを使用する場合は、変換コネクタを装着し接続すること。

また、本ケーブルでは最大[HDDx3]+[バックアップ装置 x1]もしくは[HDDx2]+[バックアップ装置 x2]まで接続可。

* DAT/AIT の動作環境(ソフトウェア)は、バックアップ装置の項を参照の事。

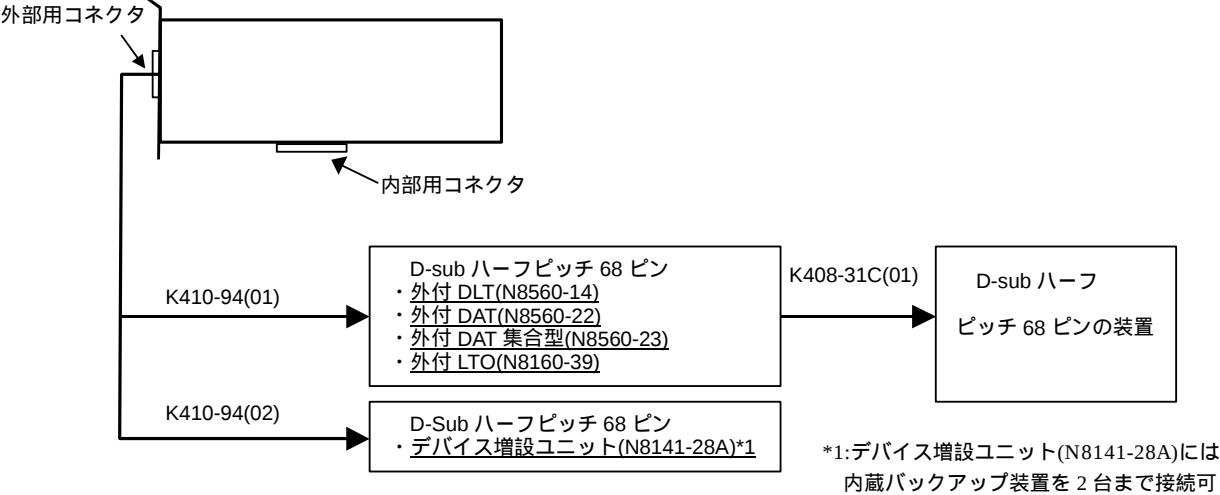
●バックアップ装置接続



* DAT/DLT/AIT/LTO/SDLT の動作環境(ソフトウェア)は、バックアップ装置の項を参照の事。

■外部接続

●バックアップ装置接続

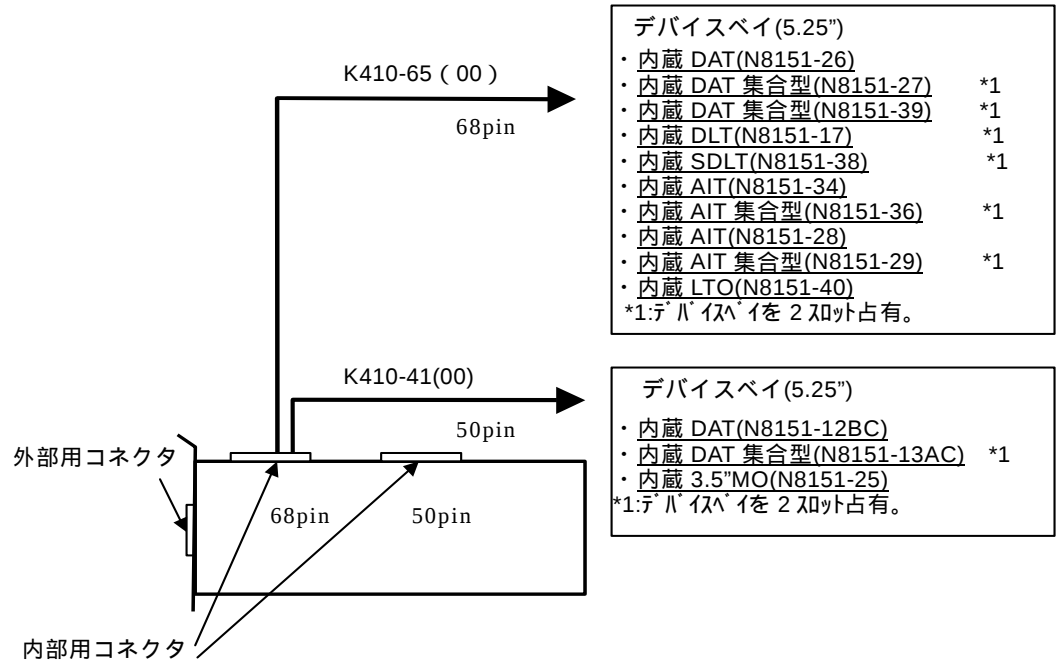


* DAT/DLT/AIT/LTO の動作環境(ソフトウェア)は、バックアップ装置の項を参照の事。

(4) N8103-42 接続例

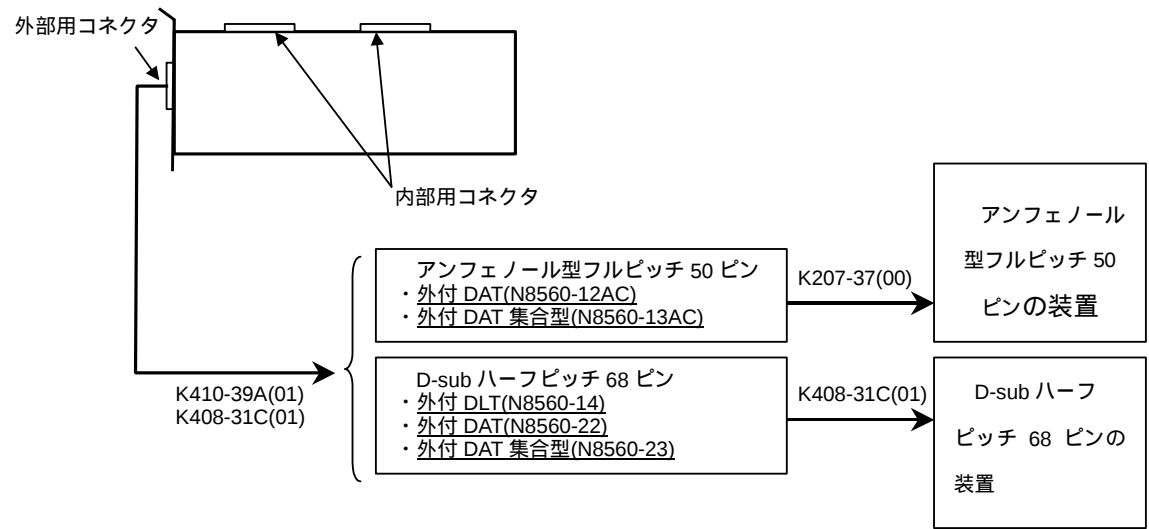
■ 内部接続

● バックアップ装置接続



■ 外部接続

● バックアップ装置接続



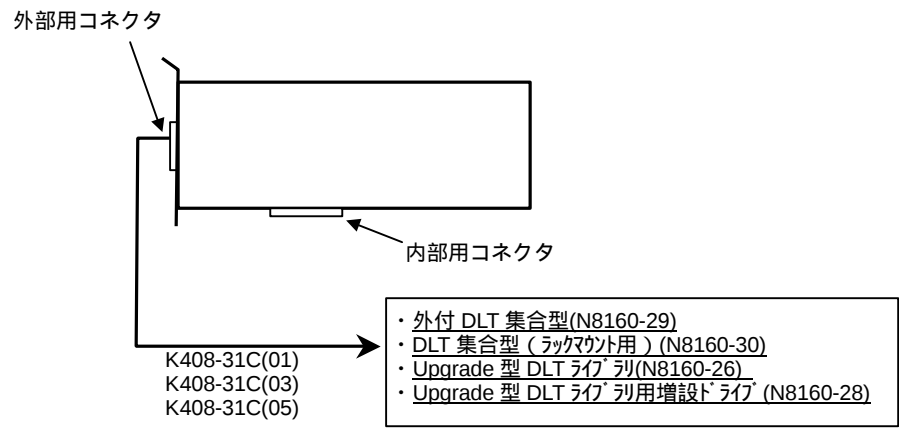
* DAT/DLT/AIT の動作環境(ソフトウェア)は、バックアップ装置の項を参照の事。

* モデルにより未サポートの SCSI 機器があるので注意すること

(5) N8103-31A 接続例

■ 外部接続

● バックアップ装置接続

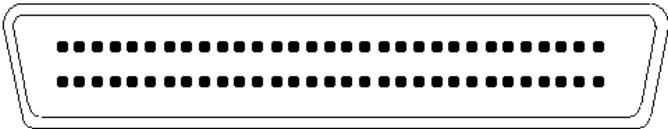


* DLT の動作環境(ソフトウェア)は、バックアップ装置の項を参照の事

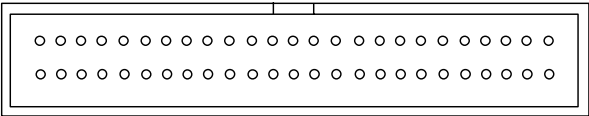
* モデルにより未サポートの SCSI 機器があるので注意すること

4.コネクタ形状

■ D-sub ハーフピッチ 68 ピン (メス) ...N8103-42,-56,-31A,-55,-65 内部コネクタ



■ BOX 型 50 ピン (オス) ...N8103-42,-56*, -31A 内部コネクタ



* N8103-56 の内部インタフェースにおいて、BOX 型 50 ピン(オス)は使用しない。

また、D-sub ハーフピッチ 68 ピン (メス) は2つあるが、使用するコネクタは1つ。